

■ 計画策定の趣旨

本市には、小岱山や小代焼などの「山」の資源、荒尾梨や美しい里山などの「里」の資源、世界文化遺産となった万田坑や鉄道敷跡、宮崎兄弟の生家、グリーンランドや宿泊施設などの「街」の資源、ラムサール条約に登録された荒尾干潟やマジックなどの「海」の資源など、様々な地域資源が豊富に備わっております。

加えて、本市の地域資源をこれまで以上に活用していくためには、豊富な地域資源に加え「人」という資源をさらに活かしていくことが肝要です。

このような中、「住みよい荒尾」「稼げる荒尾」「人材を輩出する荒尾」の実現を目指す『新・第5次荒尾市総合計画(H27～H31)』が平成27年10月に策定され、その観光関連分野の計画として、今回、荒尾市観光振興計画(第2期)を策定します。

観光振興においては、単に観光関係者のみで行うものではなく、あらゆる地場産業が関わる裾野の広い取り組みが必要とされます。そのような意味から、観光関係者同士の連携はもとより、来訪者と関わる地域の人々も一体となった取組が地域の魅力となり、交流人口の拡大や地域経済の活性化つながっていくものと考えます。

■ 計画の位置づけ

【観光立国の実現に向けた国の取組】

- H18.12月 観光立国推進基本法 → H19.6月 観光立国推進基本計画 閣議決定
- H26.6月 「観光立国実現に向けたアクション・プログラム 2014」決定
- H27.6月 「観光立国実現に向けたアクション・プログラム 2015」決定
- H28.3月 「明日の日本を支える観光ビジョン」策定
観光先進国への「3つの視点」と「10の改革」、新たな目標への挑戦を掲げる

【熊本県の観光立県に向けた取組】

- H20.12月 ようこそくまもと観光立県条例
- H21.2月 ようこそくまもと観光立県推進計画(H21~23年度)
- H24.7月 ようこそくまもと観光立県推進計画(H24~27年度)



OH27.10月

新・第5次荒尾市総合計画

〔計画期間：平成27年度～31年度〕

将来像 **しあわせ 創生 あらお**

世界基準の自然と文化が、人のつながりや誇りを紡ぐ、希望と志にあふれるまち

政策方針 **安定した雇用を創出する**

重点施策 **地域産業の競争力強化（分野別取組）**

重点戦略 **世界遺産を活用したまちづくり**

世界文化遺産となった万田坑などの三池炭鉱関連施設を活用して、大牟田市や関係機関との連携を図りながら、受入体制の強化を図り、交流人口を拡大する。

重要業績評価指標（KPI）：万田坑入場者数 14万人（平成31年度）

重点戦略 **観光地域づくりの推進**

本市観光資源を活用した教育旅行誘致や着地型体験プログラムの造成、おもてなしの向上、広域観光ネットワークの形成により観光客増と観光消費拡大を図る。関係団体等と連携してマーケティングや地域マネジメントを総合的に行うプラットフォームの設立を検討する。

重要業績評価指数（KPI）：観光入込客数 220万人（平成31年度）



（観光関連分野）

荒尾市観光振興計画（第2期）

〔計画期間：平成29年度～33年度までの5年間〕